

< 研究の経過と概要 >

わたしたち東山梨地区の「自治的諸活動」部会は、活動を始めて16年目になる。今年度は、東山梨地区の小学校12校の18名の教職員(管理職1名を含む)によって組織され、活動している。

1 研究テーマ

「一人ひとりの自立をめざした学級づくり」

テーマ設定の理由

社会生活の激しい変化の中で、子どもの生活様式や生活の意識も大きく変わってきた。多くの問題を抱える現代社会において人々は、自己の利害や損得に関わるものには敏感に反応するが、人とのつながり、思いやりや親切の心となると希薄になってきているように感じる。現代社会においては、競争を乗り切り、自分さえよければよいといった風潮があり、他者を省みない傾向がある。そうした社会の流れの中で、学校においても「学級崩壊」「いじめ」「不登校」など様々な問題が起きている。

学校での「学び」の基本は、学級集団にある。一人ひとりの子どもが集団の一員として互いに認められ、楽しく生活し、学ぶための空間が確保できるような学級集団づくりが求められる。そしてさらに、自分たちの思いによって自治的な活動を創り出し、そこから学びあえる学習集団にまで高めていく必要があると考える。

そこで、本部会では、一人ひとりが認められる学級づくりをめざして、「一人ひとりの子どもが居心地の良い集団づくり」、「人間関係の絆を強め、人とのつきあい方を学んでいく場面づくり」について研究を進めてきた。今年度も、子どもたち同士のつながりを大切にした学級づくりを目指し、問題の予防に努めていく中で、「子ども自らがよりよい学級集団を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるための手だて」について明らかにするための研究を行っていくこととし、本主題を設定した。

2 研究の具体的内容と方法

(1) 部会内を2つのグループに分け、各個人の取り組みや実践を発表し研究討議する。

【レポートの例】

エンカウンター、特別活動の充実、学級会の進め方、班長指導、朝の会・帰りの会の進め方、係活動、課題解決の手だてなど、学年の発達段階や各クラスの実態に応じた「自立をめざした学級づくりの手だて」について。

(2) 講師を招き研究を深める学習会を行う。

(3) 授業研究を通して「子ども自らがよりよい学級集団を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるための手だて」について学習を深める。

3 研究の経過

5月 8日 今年度の役員の決定

5月22日 今年度の研究の方向性の決定

・研究テーマ ・研究方法 ・年間計画

6月12日 実践発表 I

8月 9日 夏季学習会

① 「教師が行う教育相談の技法」

～解決志向ブリーフセラピーの基礎理論と演習～

講師：赤岡 玲子先生（甲府東中学校）

② 研究授業 I の授業案検討

- 8月28日 研究授業Ⅰ ・学級活動「聞く姿勢をステップアップ」(2年)
 9月18日 実践発表Ⅱ
 (今後の予定)
 11月27日 実践発表Ⅲ・県教研の還流報告
 1月15日 研究授業Ⅱの授業案検討
 2月 5日 研究授業Ⅱ
 2月12日 実践発表Ⅳ・今年度のまとめ

4 これまでの成果

- ・各々の実践を発表しあう中で、学級づくりの悩みや抱えている問題などについて情報交換をすることができ、今後の学級づくりの参考となった。
 - ・自治的な活動の手立てとして、当番活動や係活動の取り組み方、生活班・学習班の使い方、エンカウンターや Q・U についての取り組み方など具体的な方策について、話し合いを深めることができた。
 - ・学習会では、弁護士出前授業「いじめ予防授業」をしていただき、教師として子供理解の大切さを改めて感じる事ができた。
 - ・研究授業を通して、子どもたちは、普段の学校生活の中での友達のよいところ、頑張りや努力を認めあうことができた。そして、互いを理解するとともに、これからは自分の頑張り目標を決め、友達に宣誓することで自分の目標に更に意欲を持つことができた。自分への自信や前向きな意識を持たせることが大事であり、それがよりよい学級づくりにつながっていくことを学ぶことができた。
 - ・実践発表や研究授業の回数を重ねるごとに、部会としての成果を積み上げつつある。
- 今後も実践発表や学習会、研究授業を通じて、「一人ひとりの自立をめざした学級づくり」「一人ひとりが認められる学級づくり」ができる学習をさらに深めていきたい。

5 共同研究者

八幡小	: 雨宮義仁	山梨小	: 今村志帆・渡邊満智子
日川小	: 飯島裕明	日下部小	: 島田直美・佐野理恵
加納岩小	: 鶴田望・大村えり	山梨南中	: 古屋秀樹
勝沼小	: 相川和彦・篠塚直粋	東雲小	: 小林千恵美・阿部伸之介
菱山小	: 前島国学・相澤由佳	祝小	: 堀井ますみ
松里小	: 岩下和子	大藤小	: 武井輝弥

(計 18 名)

第2学年2組 学級活動学習指導案

指導者 山梨市立加納岩小学校 鶴田 望

- 1 題材 「聞くしせい」をステップアップ！
活動内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ） よりよい人間関係の形成

2 題材について

（1）児童の実態

男子12名、女子10名（含特支1名 TH）、計22名のクラスである。明るく元気な児童が多く、休み時間には、外遊びをしたり、図書の本の借り換えに行ったりする児童が多い。また、ほとんどの児童が、穏やかな気持ちで学校生活を送っている。

学習面では、活動に一生懸命取り組み、意欲が感じられる。2年生になり、「1年生のときよりもステップアップできるように」と確認しながら活動をしてきた。

学校生活全体を通して、理解力や活動のペースなどに個人差が大きく、個別に声をかける必要のある児童が数名いる。


学級力の状況を診断するためのデータをとる、子ども向けのアンケート、「わたしパワーアンケート（学級力アンケートの低学年用）」を6月27日に実施した。

わたしパワー アンケート

ねん くみ ぼん

だい かい (月) なまえ

ver. 1.2



◎わたしのことについて、4つのかおから、あてはまるところに、一つずつ○をつけましょう。

☹ はいそうです ☺ すこしそうです ☺ すこしちがいます ☹ いいえちがいます

がんばりパワー

①めあて わたしは、べんきょうやうんどうを、がんばっています。 ☹ ☺ ☺ ☺

②かかり わたしは、かかりやとうぼんのしごとを、すすんでしています。 ☹ ☺ ☺ ☺

おはなしパワー

③まくしせい わたしは、せんせいやともだちのはなしを、さいごまでよく聞いています。 ☹ ☺ ☺ ☺

④かんがえ わたしは、かんがえたことやきづいたことを、はっぴょうしています。 ☹ ☺ ☺ ☺

おたすけパワー

⑤ささえあい わたしは、こまっているともだちがいたら、すすんでたすけています。 ☹ ☺ ☺ ☺

⑥ありがとう わたしは、やさしくしてくれたひとに、「ありがとう」といっています。 ☹ ☺ ☺ ☺

なかよしパワー

⑦あんしん わたしは、ともだちのわるくちを、いっていません。 ☹ ☺ ☺ ☺

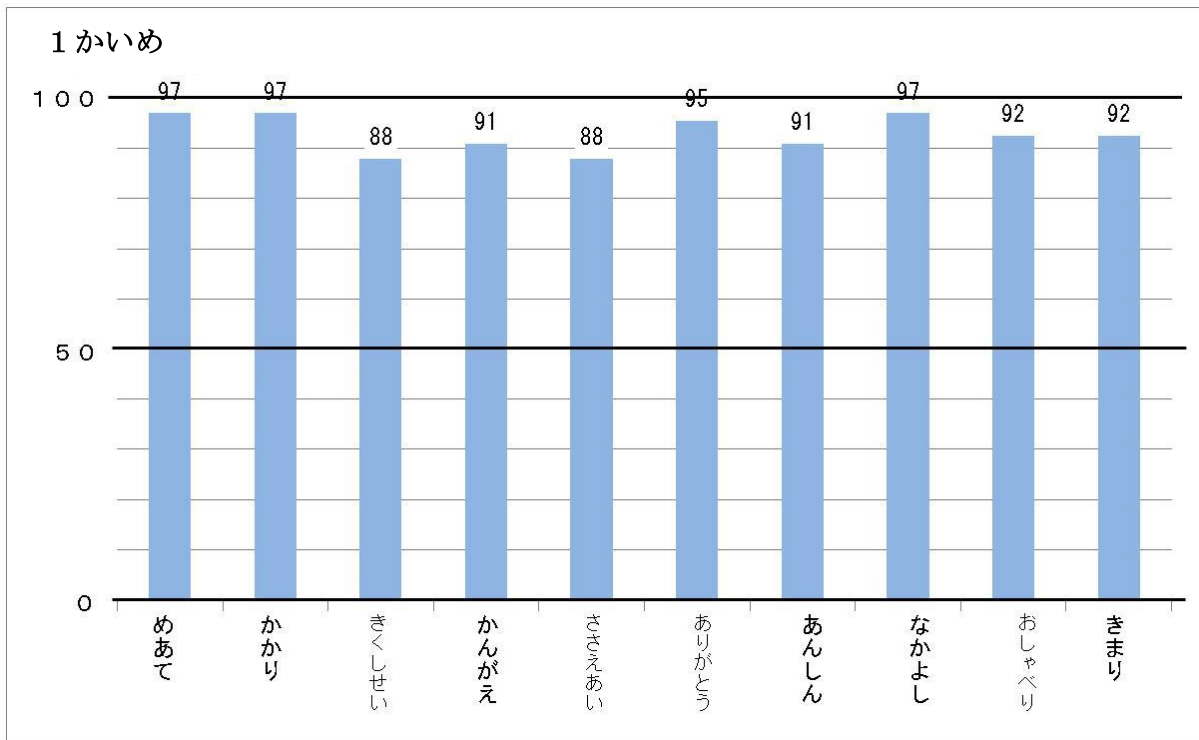
⑧なかよし わたしは、だれとでも、なかよくあそんだり、べんきょうしたりしています。 ☹ ☺ ☺ ☺

やくそくパワー

⑨おしゃべり わたしは、じゅぎょうちゆうに、むだなおしゃべりをしていません。 ☹ ☺ ☺ ☺

⑩きまり わたしは、ろうかをほらないなど、がっこうのきまりをまもっています。 ☹ ☺ ☺ ☺

結果は、以下の通りである。



「めあて (わたしは、べんきょうやうんどうを、がんばっています。)」 「かかり (わたしは、かかりやとうばんのしごとを、すすんでしています。)」 「ありがとう (わたしは、やさしくしてくれたひとに、「ありがとう」といっています。)」 「なかよし (わたしは、だれとでも、なかよくあそんだり、べんきょうしたりしています。)」は高く評価している児童が多い。「きくしせい (わたしは、せんせいやともだちのはなしを、さいごまでよくきいています。)」 「ささえあい (わたしは、こまっているともだちがいたら、すすんでたすけています。)」は、他のものよりもやや低く、学級の課題となるであろう。

(2) 題材設定の理由

「わたしパワーアンケート」の結果について、学級で背景や原因を話し合った。高評価の「めあて」については、「手をあげて発表をがんばっている。」「音楽集会を成功させた。」などが背景としてあげられた。また、「かかり」については、「係の仕事をどんどんやっている。」「やさいの水やりを忘れずにやっている」などが、「なかよし」については、「けんかをせずに仲良く遊んでいる。」ということがあげられた。課題となるであろう「きくしせい」については、「話す人におへそを向けていない。」「手いらずらをしている。」などがあげられた。「ささえあい」では、「みんなで助け合っている。」という肯定的な意見も出されたが、「転んだ人を助けないで行っちゃった人がいる。」という意見も出された。「転んだ人に気がついていないのではないか。」という、意図して助けないわけではないという意見も出された。

そんな中で、「きくしせい」をみんなでステップアップさせよう。」をめあてとし、

5日間の取り組みを行った。朝の会、帰りの会の「先生の話」に場面を限定し、帰りの会の最後に振り返りをした。各自がワークシートに振り返りをした後、全体で確認をし、「話す人を見る」「手いたずらをしない」「最後まで聞く」の全てがよくできた児童の割合に応じて、学級の「じょうずな話の聞き方の木」にもりんごをはっていくという取り組みである。多くの児童がよくできたと自己評価し、達成感を感じたり、次へのモチベーションにつなげたりしているようであった。

しかし、1学期の取り組みでは、朝の会、帰りの会の「先生の話」に場面が限定されており、「常に」、「話す相手が誰であっても」、上手に話を聞くスキルが身に着いたということにはならない。また、2年生の発達の段階では、「話す人を見る」「手いたずらをしない」「最後まで聞く」以外にも、「うなずいたり、相槌を打ったりして聞く」というスキルや「質問や感想を付け足す」というスキルも習得させたい。そして、しっかりと習得させるためには、定期的な取り組みが必要だと考える。

「聞くこと」は、児童相互の信頼関係や温かい人間関係、そして自治的な集団を形成する上でも、主体的・対話的で深い学びを実現する上でも、欠かすことができない基本的なスキルであろう。低学年のうちにとしっかりと習得させることで、中学年や高学年でのよりよい生活につながっていく。そこで、本題材では、上手な話の聞き方のポイントを押さえ、さいころトーキングに取り組みながら、上手な話の聞き方を練習していく。また、自分の話の聞き方について振り返り、今後の生活に生かせるように進めていきたい。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。	・学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、表現しようとしている。	・自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。

4 題材のねらい

- ・学級力を高めるために、上手な話の聞き方に気をつけて、友達の話を聞こうとする態度を養う。

5 事前の活動

- ・さいころトーキングに慣れるため、事前に違うトーク内容でさいころトーキングをやってみる。
- ・さいころトーキングで話す内容を考え、ワークシートに記入しておく。

6 本時の学習

(1) 日 時 2019年8月28日(水) 14:00~14:45

(2) 場 所 山梨市立加納岩小学校 2年2組教室 (1階)

(3) 展 開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導 入 13 分	<p>1 簡単なゲームを行い，ウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命令ゲーム ・つの・つぼゲーム <p>2 上手な話の聞き方のポイントを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①話す人を見る ②手いたずらをしない ③最後まで聞く ④相槌を打ちながら聞く <p>3 本時のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞くこと」に関わる簡単なゲームを行い，「聞くこと」に関心を持たせる。 ・一学期の取り組みを振り返らせ，①から③までのポイントを思い出させる。 ・良い例と悪い例を示し，④のポイントや良い例の方が話しやすいということに気づかせる。 	
	<p>めあて</p> <p>「聞くしせい」をステップアップさせるために，じょうずな話の聞きかたに気をつけて，さいころトーキングをしよう。</p>		
展 開 22 分	<p>4 上手な話の聞き方に気をつけて，各班でさいころトーキングをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番にさいころをふる。 ・さいころの出た目の数のところに書いてある内容について，1人ずつ話す。 ・一人が話し終わったら，質問や感想を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さいころトーキングをして，班の友達と上手な話の聞き方を練習することを伝える。 ・上手な話の聞き方のポイントに気をつけて聞かせる。 ・話すときも，どのような聞き方が話しやすいのかを感じながら話させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級力を高めるために，上手な話の聞き方に気をつけて，友達の話の聞き方を聞こうとしている。 <p>(行動観察)</p>

ま と め 10 分	5 自分の話の聞き方などについて振り返る。 6 これからも、上手な話の聞き方に気をつけていくことを確認する。	・自分の話の聞き方を、上手な話の聞き方のポイントに沿って振り返らせ、感想を書かせる。 ・明日から5日間、チェックカードで振り返っていくことを確認する。	・学級力を高めるために、上手な話の聞き方に気をつけて、友達の話の聞こうとしている。 (ふりかえりシート)
----------------------------	---	--	---

(4) 評価

- ・学級力を高めるために、上手な話の聞き方に気をつけて、友達の話の聞こうとしている。

7 参考文献

- ・文部科学省 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編』 東洋館出版社
- ・河村茂雄 武蔵由佳 編著 『ゆるみを突破！学級集団づくりエクササイズ 小学校』 図書文化社
- ・河村茂雄 品田笑子 藤村一夫 編著 『いま子どもたちに育てたい 学級ソーシャルスキル 小学校低学年』 図書文化社
- ・田中博之 編著 『学級力向上プロジェクト 「こんなクラスにしたい！」を子どもが実現する方法 小・中学校編』 金子書房
- ・雨宮正倫作成 『学級経営実践辞典～子どもと学級を作る33の手立て～』

8 ワークシート

さいころトークキングシート

『聞くしせい』をステップアップ！

さいころの目の数	テーマ	こたえ	わけ
1	すきなきゅうしょくはなんですか？	わたし・ぼくのすきなきゅうしょくは、()です。	どうしてかというと、() だからです。
2	すきな教かはなんですか？	わたし・ぼくのすきな教かは、()です。	どうしてかというと、() だからです。
3	すきなあそびはなんですか？	わたし・ぼくのすきなあそびは、()です。	どうしてかというと、() だからです。
4	夏休みにたのしかったことはなんですか？	わたし・ぼくの夏休みにたのしかったことは、()です。	どうしてかというと、() だからです。
5	2学期にがんばりたいことはなんですか？	わたし・ぼくの2学期にがんばりたいことは、()です。	どうしてかというと、() だからです。
6	うんどう会でたのしみなことはなんですか？	わたし・ぼくのうんどう会でたのしみなことは、()です。	どうしてかというと、() だからです。

ふりかえりシート

『聞くしせい』をステップアップ！

名前

1 じょうずな話の聞きかたに気をつけて、ともだちの話聞くことができましたか？

①話す人を見る

②手いたずらをしない

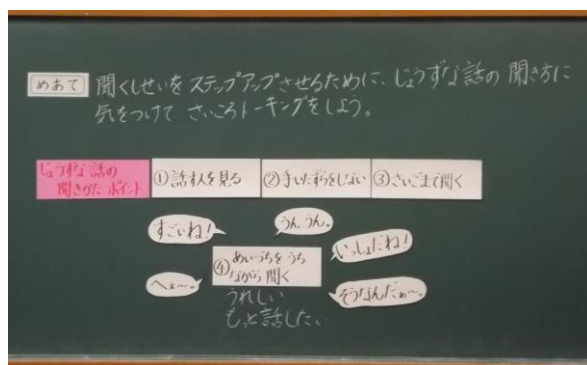
③さいごまで聞く

④あいづちをうちながら聞く

2 話していて、うれしかったことはどんなことですか？

3 学しゅうをふりかえって、かんそうを書きましょう。これから、どんなふうの話聞きたいですか？

9 本時の学習の様子



『聞くしせい』をステップアップ!

1 しょうずな話の聞きかたに気をつけて、ともだちの話を聞くことができましたか?

- ①話す人を見る
- ②手いたすらをしない
- ③さいごまで聞く
- ④あいづちをうちながら聞く

2 話していて、うれしかったことはどんなことですか?

お話をうちながら聞いてくれた

3 学しゅうをふりかえて、かんそうを書きましょう。
これから、どんなふうに話を聞きたいですか?

言語の聞きかたポイントをまもて
言語をききたい

『聞くしせい』をステップアップ!

1 しょうずな話の聞きかたに気をつけて、ともだちの話を聞くことができましたか?

- ①話す人を見る
- ②手いたすらをしない
- ③さいごまで聞く
- ④あいづちをうちながら聞く

2 話していて、うれしかったことはどんなことですか?

はなをみんながきいてくれてうれしかった。

3 学しゅうをふりかえて、かんそうを書きましょう。
これから、どんなふうに話を聞きたいですか?

しょうずな話をうちながら聞くことが
いけられたからそれをよくしたい。

10 成果と課題（その後の研究会で出た意見をもとに）

- 簡単なゲームを行い、ウォーミングアップをしたことが、いい導入のきっかけになった。
- 上手な話の聞き方のポイントを確認する際、良い例と悪い例を教師が実演して見せたことが効果的だった。話す人は、良い例では、「うれしいな。」「もっと話したい。」という気持ちになること、悪い例では、「ちゃんと話を聞いてくれているのか不安。」「さびしいな。」という気持ちになることなどに気づかせていた。
- 教師が相槌を打ちながら聞くことを実演し、その後さいころトーキングの前に、児童が相槌を打つ練習をすることで、実際にやってみて確認することができた。
- 2年生の発達の段階の児童としてはよく聞いていた。耳を傾けて「もう一度言って。」と発言したり、顔を近づけたりしながら聞いていた。
- 教師が机間巡視をする中で個別に声をかけたことや、途中でフィードバックしたことがよかった。その後のさいころトーキングでの質問や感想、相槌を打ちながら聞くことにつながった。
- 個別に声をかける必要のある児童に対しても、同じグループの児童が上手にバランスをとりながらさいころトーキングを進めているグループがあった。
- 相槌を打ちながら聞くということのきっかけ作りとなったのではないか。
- △低学年の発達の段階では、ペアや3人のグループが適当ではないか。
- △上手な話の聞き方のポイントを確認する際、良い例と悪い例を教師が実演して見せたが、2人でのやりとりだけでなく、3・4人でのやりとりを見せると本時につながったのではない

か。教師の実演が生かされなかったグループもあった。

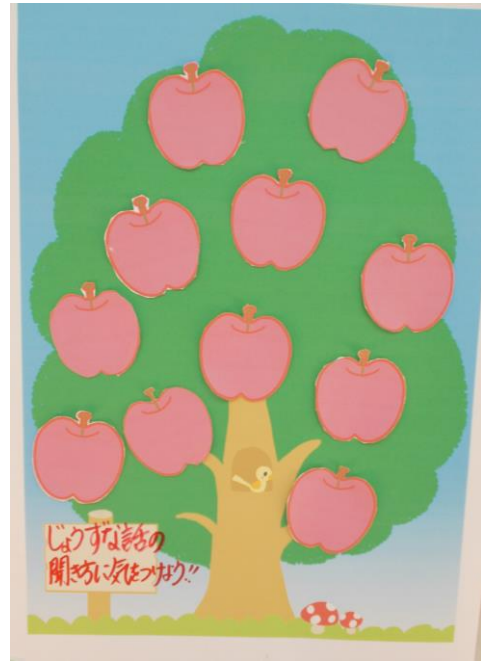
△さいころを置く場所を作るなど、さいころトーキングの最低限のルールを作るとよい。

△さいころトーキング準備シートが物理的な壁となってしまったグループもあった。話す人は、さいころトーキング準備シートは出さないで話すとか、「発表します。」と言ってから話すなど、話を聞く態勢を整えさせてから話すとよいのではないかな。

△「友達の秘密を増やそう」など、児童に友達の話を聞きたいと思わせるような投げかけをするとよいのではないかな。

1 1 その後の児童の様子

・授業後、5日間の取り組みを行った。帰りの会のスピーチの際、上手な話の聞き方に気をつけて友達のスピーチを聞き、チェックカードで振り返った。1学期の取り組みと同様、各自がワークシートに振り返りをした後、全体で確認をし、「話す人を見る」「手いたずらをしない」「最後まで聞く」に付け加え「相槌を打ちながら聞く」の全てがよくできた児童の割合に応じて、学級の「じょうずな話の聞き方の木」にもりんごをはっていくという取り組みである。多くの児童がよくできたと自己評価しており、「じょうずな話の聞き方の木」には、りんごの実がたくさんついた。



聞き方名人チェックカード

2 群 2 名まえ

はなしをきいたあとでいるをぬります

よくできたとき → 赤いいるで、かんばりんご
ざんねんだったとき → みどりいろで、がっかりりんご

	九月二日	九月三日	九月四日	九月五日	九月六日
はなし人を見る	赤	赤	赤	赤	赤
手いたずらをしない	黄	赤	赤	赤	赤
さいごまで聞く	赤	赤	赤	赤	赤
あいづちをうちながら聞く	赤	赤	赤	赤	赤

かんそう うなづきながか「う言古をきくとしたのしい。

聞き方名人チェックカード

2 群 2 名まえ

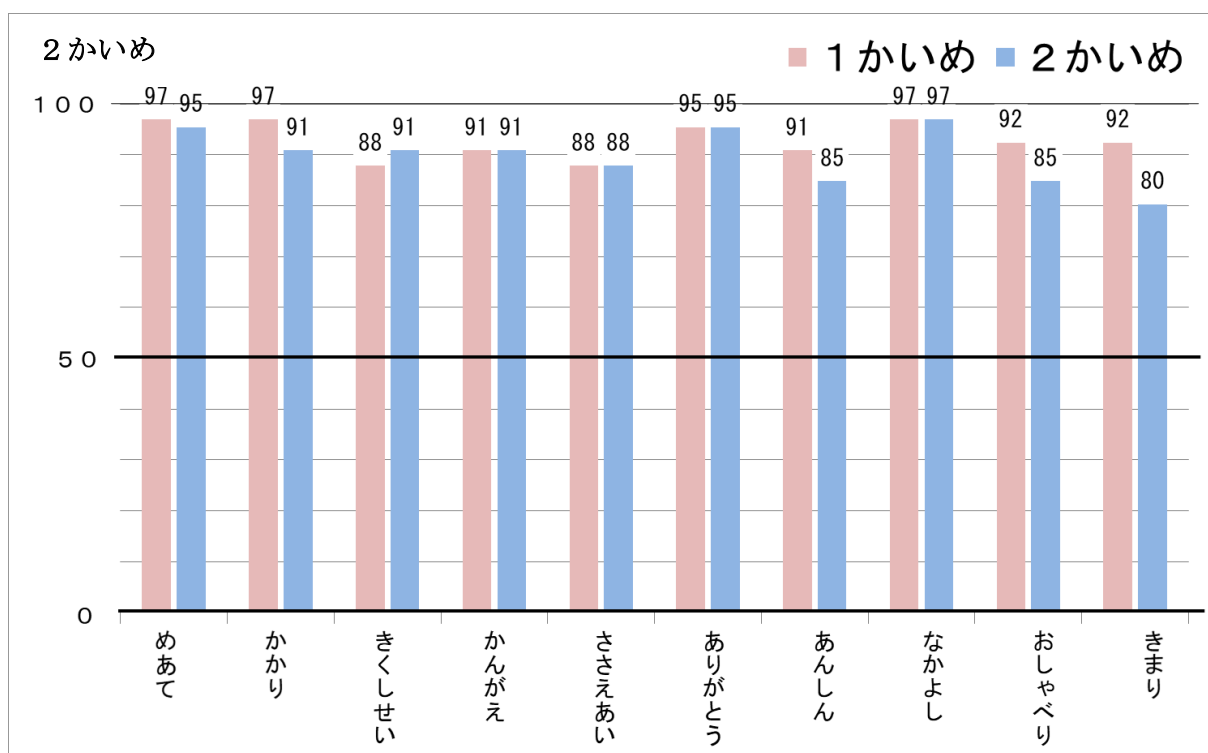
はなしをきいたあとでいるをぬります

よくできたとき → 赤いいるで、かんばりんご
ざんねんだったとき → みどりいろで、がっかりりんご

	九月二日	九月三日	九月四日	九月五日	九月六日
はなし人を見る	赤	赤	赤	赤	赤
手いたずらをしない	赤	赤	赤	赤	赤
さいごまで聞く	赤	赤	赤	赤	赤
あいづちをうちながら聞く	赤	赤	赤	赤	赤

かんそう あいつちをうちながらまいてあけたらみんなもあいつちをうてくれた。

- ・学級力の状況を診断するためのデータをとる、子ども向けのアンケート、「わたしパワーアンケート（学級力アンケートの低学年用）」の2回目を9月17日に実施した。学級でステップアップさせようとして取り組んできた「きくしせい」が、1回目の結果よりも上回っていたことで、児童も達成感を感じていたようだ。2回目の結果を見るなり、みんなで喜んだ。新たな課題も見えてきたので、次の取り組みの話し合いも行った。アンケートの結果は以下の通りである。



- ・5日間の取り組みの後も、帰りの会のスピーチでは、友達のスピーチを熱心に聞こうとする児童の姿がたくさん見られている。聞き終わった後に相槌を打つ姿が多少わざとらしくったり、大袈裟に見えたりするが、相槌を打つことを楽しみに聞いている様子が伝わってくる。相槌を打つために、一生懸命に友達の話を聞き取ろうとする児童の姿は、1学期までには見られなかった姿である。今後も、上手な話の聞き方に気をつけて話を聞くということを継続していきたい。